

豊かに入りなごい高いた小開けた「備前福岡の市」

歴史に彩られた備前福岡まち歩き

（福岡の市開催時 10:30～会場スタート）

備前福岡は国宝『一運聖絵』（1299年完成）の中にも紹介されています。鎌倉時代に定期市として始まった中世「福岡の市」は常設市へと発展し、室町時代の備前福岡は山陽道で最大級の商都として栄えました。その繁栄が、関ヶ原で戦功のあった黒田長政が筑福岡にちなみ、福岡城と名付けたことにも現れています。また、備前福岡の商人たちは岡山の一商店街「表町」の基礎を築くなど、各方面に足跡を残しています。およそ700年の時を経た2006年3月、現代版「備前福岡の市」が産声を上げました。福岡の市史跡碑に隣接する竹藪を地元住民が切り開き、近隣の農業者・



農工業者10数組が出店した手作りの市でした。その後、毎月第4日曜日開催の定期市となり、現在に至っています。4月と11月には「備前福岡の市」として中世に常設市があった備前福岡の大通り「市場小路」で地域を挙げて盛大に開催されます。



福岡一文字遺跡之地



食へることから繋がる農業と地域社会

700余ぶりに蘇った「備前福岡の市」は、地域で育てたものを地域で食する「地産地食」の拠点となります。私たちが食へることで生命を維持し、日々の暮らしを営んでいます。「食」は「人を良くする」と書くように、食へるものを選ぶかは生き方そのものと言えるでしょう。けれども、食の多様化や忙しい日常の中、食にかける手間は減り、価格優先のもの選びになりがちではないでしょうか。生活習慣病やアレルギーの増加、医療費の増大、農業や地域社会の衰退など今日の社会問題の多くが、実は食と強く関連しています。

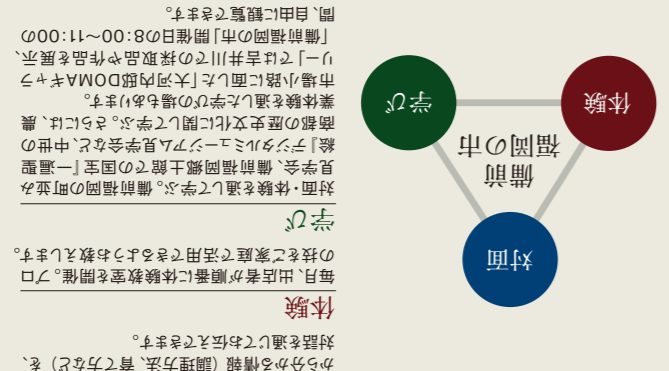
顔の見える関係で繋がる農と食を通して地域社会の中に、解決策があると思えます。地元生産者がどのように農業を育て、そしてそれらはどう加工・調理しているかを知ることは、表示だけではわからない背景が見え、安心・信頼に繋がります。顔見知りの生産者が増えれば、地域とのつながりや愛着も深まるでしょう。そして、継続的に商品を購入することが生産者を応援し、地域社会の経済を盛り上げることになるのです。

出会うの場としての備前福岡の市



2006年3月より毎月第4日曜日定期市として開催している「備前福岡の市」は、消費者と生産者を繋ぐ「出会うの場」を目指しています。毎回30店近くの出店者が並び、来客者とふたりふれあう距離感の近さが魅力です。「対面」「体験」「学び」——これが私達の合言葉です。

対面・体験・学び



備前福岡町並略図



備前福岡の市 毎月第4日曜日 午前8時～11時  
（毎年4月・11月 備前福岡の市 午前8時～14時）  
場 所／瀬戸内市長船町福岡（一文字北側の広場）  
駐 車 場／一文字および会場近隣  
主 催／福岡の市出店者会  
協 賛／瀬戸内市観光協会・瀬戸内市商工会  
長船カントリークラブ・福岡郵便局・平井医院・妙興寺  
備前福岡の市園地産地消推進協議会  
後 援／瀬戸内市・岡山商科大学  
発行／備前福岡の市園地産地消推進協議会 発行人／大倉秀千代  
「この事業は一般社団法人 中国建設弘済会の助成を受けています」  
お問い合わせ／備前福岡の市出店者会（一文字うどん内）  
岡山県瀬戸内市長船町福岡 1588-1  
TEL 0869-26-2978 FAX 0869-26-8052



福岡の市 Facebook



福岡の市ホームページ

次世代へつなぐ、100年続く朝市へ

備前福岡の市出店者会副会長 高原 隆平

2006年の開催から始まり、今年15周年を迎える「備前福岡の市」。私と「備前福岡の市」との関わりは、家業を継ぐために帰郷した2007年からです。「備前福岡の市」は今も昔も、出店者同士が協力してつくる市です。会場準備のひとつをとっても、毎回出店者同士でレイアウトを考え話し合いながら、会場をつかっていきます。また、自分の出店準備だけでなく、会場全体の設営や他の出店者の準備も協力して行います。お客様にも、出店者にもより良い環境で市が開催できるよう、毎回試行錯誤しています。

「備前福岡の市」の名物に、マイクを各テントに回し、出店者がおすすめの商品やサービスを順に紹介していく時間があります。そこでは、自分のおすすめ以外にも、他の出店者の紹介を行う場面も多く見かけます。出店者同士、お互いの良いものを知っているからこそできる「備前福岡の市」独自の恒例行事です。このように出店者同士が協力して市をつくりあげることで「うちの市」という共通意識ができ、「備前福岡の市」に誇りを持つ。それは、お客様にも伝わっていると思います。

技術やこだわりのある商品づくりはもちろん、出店者同士が協力して「備前福岡の市」をつくり上げていく気持ちも繋いでいけば100年続く市になるのではないのでしょうか。100年目にはまだまだ遠い道のりですが、毎回、毎回を大切に、更に充実した市を目指して繋いでいきます。



保存版 備前福岡の市 15周年記念「100年続く市を目指して」



備前福岡の市 15周年記念「100年続く市を目指して」 2021.2.21 発行

中世の商都・備前福岡の賑わいを再び 地産地食「備前福岡の市」

